

礒山雅講師の友情出演を予定しておりましたが、久元講師単独の講座となりました。

シリーズ・モーツァルト生誕 260 年

# 最後のピアノ協奏曲

講師 ピアニスト 久元 祐子

今年は、モーツァルトの生誕 260 年にあたります。  
本講座では、モーツァルト最後のピアノ協奏曲、  
第27番変ロ長調KV595を中心に、オーケストレー  
ションの妙、「春への憧れ」の旋律で知られる第3楽  
章の透明感など、演奏を交えながら、この曲の持つ  
魅力に迫りたいと思います。（講師・記）



©Katsuo Sakayori

**日時** 2016年 5月21日(土) 16:00~17:30  
**受講料** 会員 3,240円（入会金は5,400円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です。）  
一般 3,888円  
※入会金、受講料、教材費等は消費税8%を含む金額です。

※ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。  
※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。  
※個人情報は、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター | 新宿  
朝日JTB・交流文化塾

〒163-0204 東京都新宿区西新宿2-6-1  
新宿住友ビル内 私書箱22号  
tel 03-3344-1945  
<http://www.asahiculture.com/shinjuku>

## <講師紹介>

### 久元祐子（ひさもと ゆうこ）

東京芸術大学音楽学部（ピアノ専攻）を経て同大学大学院修士課程を修了。ウィーン放送交響楽団、ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団など、国内外のオーケストラや弦楽四重奏団と多数共演。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。歴史的楽器の演奏会や録音にも数多く取組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。

シヨパン生誕 200 年記念年には、全国各地でプレイエルによる演奏会を行い、大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011 年ウィーンでのリサイタルで好評を博し、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾りベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。2012 年イタリア国際モーツァルト音楽祭に招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され称賛された。国立音楽大学准教授、日本ラトビア音楽協会理事。

これまでに CD12 作をリリース。「ハイドンとモーツァルト」は毎日新聞CD選に選ばれ、「ベートーヴェン”テレーゼ””ワルトシュタイン”」はグラモフォン誌上で「どこからどう考えても最高のベートーヴェン演奏」などの評価を得る。2015 年 12 月にリリースの最新アルバム「優雅なるモーツァルト」は、「レコード芸術」特選盤、毎日新聞の特薦盤となる。

著書に「モーツァルトとヴァルター・ピアノ」（学研）、「モーツァルトのピアノ音楽研究」（音楽之友社）「原典版で弾きたい！モーツァルトのピアノ・ソナタ」など。毎日 21 世紀賞特選受賞。

久元祐子ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp/>

## ◆「シリーズ・モーツァルト生誕 260 年」は、以下の 3 講座です◆ (日程順)

講座名	講師名	日時	受講料
モーツァルトの オーケストラ曲	青山学院大学准教授 広瀬 大介	4/11(月) 15:30~17:00	会員 3,024 一般 3,672
モーツァルトの誘惑	音楽評論家 堀内 修	5/9(月) 13:00~15:00	会員 3,024 一般 3,672
最後のピアノ協奏曲	ピアニスト 久元 祐子	5/21(土) 16:00~17:30	会員 3,240 一般 3,888